

現状の課題と課題解決のための手立て

- ・授業の楽しさの質を向上させるために、教師の英語力・指導力を向上させ、「自分の考えや思いをもち、それらを主体的に伝えられる喜び、理解できる喜びを味わえる授業づくり」をめざす。

具体の取組の内容

- ①教師が担任主導の「外国語」の授業ができるようになるための、学習指導要領「外国語活動」の趣旨を踏まえた公開授業・研究協議会の実施
- ②教師の英語力・指導力の向上をめざした、英語教育推進リーダーを主にした示範授業と職員研修の実施
- ③ALTと連携し、児童が自分の思いや考えを伝え合い、自分の言葉で授業を振り返る場の設定による、児童のコミュニケーションに対する関心・意欲を高める効果的な活動・場面の設定

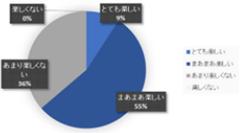


伝え合う喜びを味わえる
活動の充実

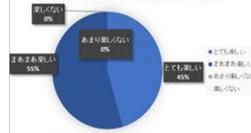


成果①

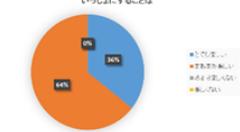
外国語活動の授業は楽しいですか



外国語活動の授業は楽しいですか



6学年 4.英語で先生や友達と話したいいろいろな活動を
いっしょにすることは



6学年 外国語科の授業について
4.英語で先生や友達と話したいいろいろな活動がいっしょ
にすることは



- ①教師自身が主体的に「楽しく」授業を実践できるようになった。
- ②児童の授業の中でのコミュニケーションに対する関心・意欲が向上している。

成果②

- ①児童が「理解できた、話すことができた」という達成感を味わえる授業が実践できた。
→授業の楽しさの質が「ゲームの楽しさ」から「伝えられる喜び、理解できる喜びを味わえる楽しさ」へと変容した。
- ②教師の英語力・指導力の向上
→ジェスチャー等の視覚化の工夫、温かな雰囲気でのスモールトーク、クラスルームイングリッシュ等、英語を使おうという意識が向上し、担任が英語を教えるメリットを最大限に発揮できるようになった。
- ③担任とALTとの効果的な連携
→ゲームの説明、発音確認、実際の児童の活動へのALTの参加等、効果的な役割分担ができるようになった。

今後の課題・方向性

- ①学習内容の充実に伴う英語の学習に難しさを感じる児童の増加
→特に書く活動に難しさを感じる児童の増加
- ②担任のさらなる授業力・指導力向上をめざした授業に生かせる様々な活動の実践的な研修の継続と積み重ね
- ③児童ひとりひとりの意識の変容や伸びを見取る評価方法の工夫
- ④CAN-DOリストの内容項目等のさらなる検討と効果的な活用方法の工夫
- ⑤担任の英語力向上をめざしたALTとのさらなる効果的な連携の在り方